

報道関係者各位
PRESS RELEASE 2015年5月11日

No. 2015-003-1

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015

東南アジアショートフィルムの“熱さ”に触れる新プログラム開催決定 6カ国作品を無料上映、東南アジアを代表するショートフィルム関係者が集結

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、日本とアジア諸国との文化交流を促進、強化するさまざまな事業を実施しています。



『雨あがれ』(SEPATU BARU On Stopping the Rain)
[インドネシア]

このたび、17回目の開催を迎えるアジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」において、同映画祭実行委員会と共催で、2015年および2016年の2年にわたり、東南アジア11カ国の短編映画の作品上映と、各国の短編映画関係者による国際シンポジウムを開催いたします。初年度となる本年は、6カ国(カンボジア・インドネシア・ラオス・シンガポール・東ティモール・フィリピン)の作品を取り上げます。

東南アジアでもその制作熱が高まっているショートフィルム。作品上映やショートフィルム関係者によるシンポジウムを通じて、日本ではまだ知られることが少ない東南アジアの「今」に迫ります。

■ 「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015」 東南アジアプログラム&シンポジウム ～東南アジアのショートフィルムの現状と展望～

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2015

<上映>(一部作品については監督のアフタートークあり)

【日時/会場】	2015年 6月5日(金) 15:40~17:30	シダックス・カルチャーホール
	6月7日(日) 11:20~13:10	表参道ヒルズ スペース オー
	6月8日(月) 17:50~19:40	ブリリア ショートショート シアター
	6月10日(水) 15:40~17:30	ブリリア ショートショート シアター

【参加費】 無料

<シンポジウム>

【日時/会場】 2015年6月7日(日) 13:30~15:20 表参道ヒルズ スペース オー

【参加費】 無料

【特設サイト】 http://www.shortshorts.org/southeast_asia/ (日本語/英語)

※上映作品、シンポジウム概要、来日ゲストの情報など、詳細は次頁以降および上記特設サイトをご覧ください。

【主催】 国際交流基金アジアセンター、ショートショート実行委員会

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: アジアセンター 文化事業チーム (担当:大角)

Tel: 03-5369-6025 / Fax: 03-5369-6036

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

■ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015
東南アジアプログラム

＜日時／会場＞	6月5日(金)	15:40～17:30	シダックス・カルチャーホール
	6月7日(日)	11:20～13:10	表参道ヒルズ スペース オー
	6月8日(月)	17:50～19:40	ブリリア ショートショート シアター
	6月10日(水)	15:40～17:30	ブリリア ショートショート シアター

作品ラインアップ一覧 (上映順)



『握りしめた石ころ』 (Fistful of Peebles)

監督: Somchanrith Chap / カンボジア / 6:59 / 2014

あらすじ

“グッド・バッド・ビューティフル”—カンボジア初のウェスタン映画!



『雨あがれ』 (SEPATU BARU / On Stopping the Rain)

監督: Aditya Ahmad / インドネシア / 14:00 / 2013

あらすじ

少女はインドネシアの風習にならって、雨を止めようとするが...



『父の手形』 (Father's Handprint)

監督: Kesone Keola / ラオス / 7:00 / 2015

あらすじ

ラオスの伝統舞踊の継承をめぐるぶつかり合う、父と息子の物語。



『マダム・タンの秘密の情熱』

(The Secret Passion of Mdm Tan Ah Lian)

監督: Sun Koh / シンガポール / 16:09 / 2014

あらすじ

マダム・タンには作家という秘密の顔がある。



『闘鶏』 (The Cock Fight)

監督: Bety Reis / 東ティモール / 11:00 / 2011

あらすじ

東ティモールの闘鶏場に潜入。



『オフエリアのために』 (For Ofelia)

監督: Christopher de las Alas / フィリピン / 15:00 / 2014

あらすじ

女の子が欲しい母親と息子のお話。

■ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015
シンポジウム「東南アジアのショートフィルムの現状と展望」

<日時/会場> 6月7日(日) 13:30~15:20 表参道ヒルズ スペース オー

東南アジアでは、日本や諸外国と同様に、近年のデジタルビデオカメラや映像制作ソフトの普及により、映像制作が身近なものとなり、作品は益々増えています。今回のシンポジウムでは、勢いが加速する東南アジアでの、映画産業全体におけるショートフィルムの位置づけ、制作方法、若手育成への取り組みなどについて、欧米を含む各国の短編映画業界を代表するパネリストが議論します。

パネリスト一覧



カンボジア : Chea Sopheap (チェア・ソピアップ)
ボバナ視聴覚リソースセンター 副所長

カンヌ映画祭の「ある視点部門」グランプリ受賞監督でもあるリティ・パン* (Rithy Panh)が代表を務めるボバナ視聴覚リソースセンターのアーキビストを経て、現職。同センターにおける10年以上のキャリアの中で、視聴覚資料の収集及びそれらの資料を活用した文化イベントや、展覧会の実施、カンボジア国内での数々の映画祭の企画・運営に携わる。

*「リティ・パニユ」と表記されることもありますが、ご本人のご希望により「リティ・パン」と表記しております。



インドネシア : Yosep Anggi Noen (ヨセプ・アング・ノエン)
映画監督/プロデューサー

インドネシア・ジョグジャカルタにあるガジャ・マダ大学にて、政治とコミュニケーション学を学ぶ。アジア・フィルム・アカデミーより奨学金を受け、2014年のベルリン国際映画祭のタレントキャンパスに参加。彼が脚本を手がけた『Blossom』は韓国で製作され、釜山国際映画祭で上映。その後も数々のショートフィルムとドキュメンタリー作品を制作。『ホールインワンを言わない女』はショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014にてグランプリを獲得。現在は、ジョグジャカルタにてインディペンデント映像制作会社 Limaenam Filmsを経営。



ラオス : Athidxay Bouandaohaung (アーティッドサイ・ボーンダー・オフアン)
「DOKLAOセンター」代表/「Lao New Wave Cinema Production」共同設立者/プロデューサー

ラオス国立大学を卒業後、インドのディア・パーク・インスティテュートにて、ドキュメンタリー映画の製作を学ぶ。現在は、ラオスの農村に暮らす子供たちにニュース報道やラジオ放送、映像制作など総合的なメディア教育を実施する「DOKLAO」を主宰している。また、2009年より現地の国際映画祭である「ヴィエンチャナーレ」に主催者として参加したり、ラオス初のインディペンデント映像制作会社「Lao New Wave Cinema Production」の共同設立者として長編映画のプロデューサーも務めるなど、急速に進化するラオスの映画産業に多面的に関わっている。



シンガポール : Derek Tan (デレック・タン)
「Vidsee.com」共同創設者

映画監督、編集者として映像制作に携わるほか、アジアのショートフィルムのオンライン・ビデオ・プラットフォーム「Vidsee.com」の共同創設者でもある。監督作品に『CASHLESS』(2009)、『Minute』(2007)、『Crack』(2006)。様々な技術を通じて、メディアの消費のあり方を変化させることを目標に活動している。

■ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2015
シンポジウム「東南アジアのショートフィルムの現状と展望」

パネリスト一覧(続き)



ケベック、カナダ : Marie-Élaine Riou (マリー・イレーン・リウ)
サグネ国際短編映画祭 ショートフィルム選考員/ショートフィルムマーケットディレクター

カナダ・ケベック州出身のマリー・イレーン・リウは、モントリオール(カナダ)、バルセロナ(スペイン)そしてバルセロナ(アルゼンチン)で映画を学び、各国の学生短編映画製作において、プロダクション統括や、助監督なども経験。大学での経験を活かし、2012年からはカナダ・ケベック州で開催されているサグネ国際短編映画祭において、ショートフィルムの選考員として活躍しているほか、同映画祭のショートフィルムマーケットにおけるディレクターを担当。2015年2月には、ウェブシリーズとして「Mea Culpa」を地元の芸術団体と立ち上げた。



フランス : Bertrand Rouchit (ベルトラン・ルーシ)
クレルモンフェラン国際短編映画祭子供プログラム統括

1974年、クレルモンフェラン(フランス)生まれ。ベルトラン・ルーシは大学で法律を専攻し卒業後、クレルモンフェラン・シネマテークで映像制作会社「Comme une image... (「イメージのように」)」を共同設立。その後、Videoformes フェスティバルという映像祭に長年携わり、現在はクレルモンフェラン国際短編映画祭(CFISFF)にて5年、映画祭業界には10年以上も従事。現在、CFISFFでは「子供プログラム」の統括と、「アフリカ」のショートフィルム特集を担当。また、コンペティションでは国内部門(フランス)の選考員も務める。

【国際交流基金アジアセンター】

国際交流基金アジアセンターは、アジア域内に住む人々の間に、共に生きる隣人としての共感、共生の意識を育んでいくことを目指し、文化事業、知的交流事業、日本語教育事業をはじめとした幅広い分野で、日本とアジア諸国との交流と協働を促進、強化するさまざまな活動を行っています。東南アジア地域を主な対象とする交流事業や調査・研究活動などを支援する助成プログラムも実施しています。詳細はウェブサイト(www.jfac.jp)をご覧ください。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)】

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。俳優の別所哲也が1999年に立ち上げたもので、初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムを6作品上映し、その後も毎年応援を頂いております。欧米のショートフィルムを日本に紹介してきた「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」、また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から2004年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」の2つの映画祭が「SSFF & ASIA」として同時開催されています。グランプリ作品は、次年度のアカデミー賞短編部門のミネート選考対象作品となり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋となりました。当映画祭は、世界に羽ばたく若きクリエイターを応援していきます。

www.shortshorts.org